

タイトル「**2024年度大学院危機管理学研究科(公開用)**」、フォルダ「**大学院危機管理学研究科**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー			
科目名	アカデミック・ライティング&リサーチ		
担当教員	先崎 彰容,木村 敦,宮脇 健,山下 博之		
対象学年	1年,2年	開講学期	前期
曜日・時限	金 1		
講義室	1210	単位区分	必
授業形態	講義	単位数	2
科目大分類	—		
科目中分類	基盤科目		
科目小分類	演習・ゼミナール		
科目の位置付け（開発能力）	■ DPコード・学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP1-D(市民的素養・市民的教養) 市民的素養と参加コミュニティに積極的な変化をもたらすために、知識・スキル・価値観・動機を動員することができる。 DP6-K（表現力・対話力）文章及び口頭で、自らの考えを的確に表現し、他者に過不足なく伝達することができる。		
教員の実務経験	各講師の経歴に準じる		
成績ターゲット区分			
科目概要・キーワード	■ 授業概要 ■ 各講師の専門性に基つきながら、大学院生として適切な論文・レポート作成のためのスキルを身に付け、最終的に修士学位論文を書くための適切なスキルを学ぶことを目指します。 ■ キーワード ■ ライティング・スキル、情報収集、資料操作、資料読解		
授業の趣旨	■ 副題 ■ 修士論文の作成にむかって ■ 授業の目的 ■ 危機管理学の研究を進めるうえで必要不可欠な、研究手法を、多岐にわたり四名の講師がそれぞれの方法を用いて教授します。 ■ 授業のポイント ■ リサーチデザインの基礎を学ぶと同時に、データの解析と理解、調査案件の立案から実施まで、またフィールドワークの方法などに加え、修士論文作成のための基礎スキルを伝授することを予定しています。		
総合到達目標	資料やデータを正確に把握し、来るべき論文作成のためのスキル・アップを図る。		
成績評価方法	各講師の方針に基づき、レポートの提出、講義時間内での発言などを総合的に踏まえて判断します。		
履修条件	特になし		
履修上の注意点	各講師により、指導方法に違いがあるため、その指示にしたがって受講してください。		
授業内容	回	内容	
	1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 次週以降行われる危機管理に関わる研究方法、書き方、資料操作の基本について、ガイダンスを行う（DP-1） ③予習 特に求めません。 ④復習（120分） 教員からの指示に基づき、事前配布される資料を読み込んでおくこと。 【担当教員：先崎 彰容】	
	2	①授業テーマ 危機管理にまつわる、卒業論文の精読 ②授業概要 今年度、卒業論文を書いて卒業した学生の論文一点について、その資料操作方法、書き方など多岐にわたる問題点、課題を論じあい、よりよい修士論文作成のための糧を得ることを目指します。 ③予習（120分） 事前に与えられた課題に眼を通し、問題点を洗い出しておくことを求めます。 ④復習（120分） 授業内容を復習し、自分自身の卒業論文の課題を見つめ直すことを求めます。 【担当教員：先崎 彰容】	
	3	①授業テーマ 危機管理にまつわる、卒業論文の精読 ②授業概要 今年度、卒業論文を書いて卒業した学生の論文一点について、その資料操作方法、書き方など多岐にわたる問題点、課題を論じあい、よりよい修士論文作成のための糧を得ることを目指します。	

	③予習（120分） 事前に与えられた課題に眼を通し、問題点を洗い出しておくことを求めます。 ④復習（120分） 授業内容を復習し、自分自身の卒業論文の課題を見つめ直すことを求めます。 【担当教員：先崎 彰容】
4	①授業テーマ 危機管理にまつわる、卒業論文の精読 ②授業概要 今年度、卒業論文を書いて卒業した学生の論文一点について、その資料操作方法、書き方など多岐にわたる問題点、課題を論じあい、よりよい修士論文作成のための糧を得ることを目指します。 ③予習（120分） 事前に与えられた課題に眼を通し、問題点を洗い出しておくことを求めます。 ④復習（120分） 授業内容を復習し、自分自身の卒業論文の課題を見つめ直すことを求めます。 【担当教員：先崎 彰容】
5	①授業テーマ 危機管理に関わる心理・行動データの収集・解析・読解① ②授業概要 危機管理に関わる課題の抽出や介入の効果検証を行う際に必要となる心理・行動データを適切に理解し扱えるようになるために、当授業回では研究上および倫理上妥当なデータ収集の手続きについて説明できるようになる（DP-1、DP-2）。 ③予習（120分） 図書館で「心理学研究法」に関する複数の書籍を閲覧し内容を比較するとともに、自分自身の習熟度にあった書籍を1冊以上借りて一読する。 ④復習（120分） 授業内容を踏まえて講義ノートを作成する。授業で指示された参考資料等がある場合は精読し、補足事項や疑問点について講義ノートに加筆する。 【担当教員：木村 敦】
6	①授業テーマ 危機管理に関わる心理・行動データの収集・解析・読解② ②授業概要 危機管理に関わる課題の抽出や介入の効果検証を行う際に必要となる心理・行動データを適切に理解し扱えるようになるために、当授業回では心理・行動データの分析において統計解析を用いることについて、その必要性や具体的な手順を説明できるようになる（DP-1、DP-2）。 ③予習（120分） 図書館で「心理統計」に関する複数の書籍を閲覧し内容を比較するとともに、自分自身の習熟度にあった書籍を1冊以上借りて一読する。 ④復習（120分） 授業内容を踏まえて講義ノートを作成する。授業で指示された参考資料等がある場合は精読し、補足事項や疑問点について講義ノートに加筆する。 【担当教員：木村 敦】
7	①授業テーマ 危機管理に関わる心理・行動データの収集・解析・読解③ ②授業概要 危機管理に関わる課題の抽出や介入の効果検証を行う際に必要となる心理・行動データを適切に理解し扱えるようになるために、当授業回では心理・行動データの論文上の記述方法や解釈の留意点について説明できるようになる（DP-1、DP-2）。 ③予習（120分） 危機管理に関するテーマで心理・行動データを扱った査読付き学術論文のうち自分自身が興味のあるものを1本以上収集し、その論文を一読するとともに、心理・行動データについてどのような統計解析が行われており、その結果からどのような解釈がなされているかをノートにまとめてくる。 ④復習（120分） 授業内容を踏まえて講義ノートを作成する。授業で指示された参考資料等がある場合は精読し、補足事項や疑問点について講義ノートに加筆する。 【担当教員：木村 敦】
8	①授業テーマ 危機管理の事例から見る社会調査の立案方法 ②授業概要 危機管理に関わる先行研究に基づき、調査の立案をどのようにすることが望ましいのか理解をすることで、危機管理に関わる研究で実施する調査を立案する意味について説明できるようになる。（DP-1、DP-2、DP-4）。 ③予習（120分） 事前に配布した先行研究にあたる論文を精読し、研究概要についての妥当性について検討して、まとめておく。 ④復習（120分） 授業時に議論した先行研究の研究の立案に関する可能性と限界について理解をし、どのような立案がよいのか再度検討をする。その際に、別の先行研究を提示するので、比較して検討をしてみる 【担当教員：宮脇 健】
9	①授業テーマ 危機管理研究の計画の作成方法 ②授業概要 危機管理に関わる先行研究に基づき、研究計画の作成方法を理解し、研究計画の実行するため準備、作業及び、その実現性など、調査するうえで必要となる工程について説明できるようになる（DP-1、DP-2、DP-4）。 ③予習（120分） 事前に配布した先行研究にあたる論文を精読し、研究実施方法と計画を確認して、その計画の妥当性についてまとめておく。 ④復習（120分） 授業時に議論した先行研究の研究計画に関する可能性と限界について理解をし、どのような研究計画であれば可能であるのかを再度検討をする。その際に、別の先行研究を提示するので、比較して検討をしてみる。 【担当教員：宮脇 健】
10	①授業テーマ 危機管理研究の方法について ②授業概要 危機管理に関わる先行研究の研究方法について理解をし、研究の目的に照らして、研究方法の妥当性とより適切な方法の設定について説明できるようになる（DP-1、DP-2、DP-4）。

	③予習（120分） 事前に配布した先行研究にあたる論文を複数精読し、研究方法を確認して、その方法が研究目的を達成するためにどの程度妥当なのか検討をする。 ④復習（120分） 授業時に議論した先行研究の研究方法に関する可能性と限界について理解をし、どのような研究方法であれば可能であるのかを再度検討をする。その際に、別の先行研究を提示するので、比較して検討をしてみる。 【担当教員：宮脇 健】
11	①授業テーマ 危機管理研究の研究実施のまとめ ②授業概要 危機管理に関わる先行研究に基づき、調査の立案、計画、方法、実施の一連の過程について理解をしたうえで、研究目的を達成するためのより適切な研究計画の立案、方法の提示、実施について説明できるようになる。（DP-1、DP-2、DP-4）。 ③予習（120分） 事前に簡易な研究計画書を提示するので、研究計画書を作成してくる。 ④復習（120分） 授業時に議論した各人の研究計画に関する可能性と限界について理解をし、どのような研究計画の立案、実施方法であれば実現可能であるのかを再度検討をする。その際に、類似の先行研究を提示するので比較して検討をしてみる。 【担当教員：宮脇 健】
12	①授業テーマ 危機管理研究におけるフィールドワーク・インタビュー調査（1） ②授業概要 質的研究に関する基本的理解を踏まえ、危機管理に関する質的研究の可能性や限界について説明できるようになる（DP-1、DP-2、DP-4）。 ③予習（120分） 事前に担当教員から配布される資料を読む。 ④復習（120分） 担当教員から事前に配布されていた資料を再読し、授業の内容を踏まえながら、質的研究の特徴、危機管理に関する質的研究の可能性と限界、自らの考えや疑問点をノートに整理する。 【担当教員：山下 博之】
13	①授業テーマ 危機管理研究におけるフィールドワーク・インタビュー調査（2） ②授業概要 質的研究におけるフィールドワークとインタビュー調査に関する基本的理解を踏まえ、調査の準備から実施までの手順及び倫理上の留意点について説明できるようになる（DP-1、DP-2、DP-4）。 ③予習（120分） 事前に担当教員から配布される資料を読む（一部担当者は資料に関するレジュメを作成する）。 ④復習（120分） 担当教員から事前に配布されていた資料を再読し、授業の内容を踏まえながら、フィールドワークとインタビュー調査の準備から実施までの手順及び倫理上の留意点、または自らの考えや疑問点をノートに整理する。 【担当教員：山下 博之】
14	①授業テーマ 危機管理研究におけるフィールドワーク・インタビュー調査（3） ②授業概要 質的研究におけるフィールドワークとインタビュー調査に関する基本的理解を踏まえ、調査で得られたデータ（音声データ、画像データ、メモ等）の整理方法及び研究への基本的な活用方法について説明できるようになる（DP-1、DP-2、DP-4）。 ③予習（120分） 事前に担当教員から配布される資料を読む（一部担当者は資料に関するレジュメを作成する）。 ④復習（120分） 担当教員から事前に配布されていた資料を再読し、授業の内容を踏まえながら、フィールドワークとインタビュー調査で得られたデータ（音声データ、画像データ、メモ等）の整理方法及び研究への基本的な活用方法、または自らの考えや疑問点をノートに整理する。 【担当教員：山下 博之】
15	①授業テーマ 危機管理研究におけるフィールドワーク・インタビュー調査（4） ②授業概要 質的研究におけるフィールドワークとインタビュー調査に関する基本的理解を踏まえ、自らの研究テーマに関連するフィールドワークまたはインタビュー調査対象及び調査内容、方法を検討し、自らの調査計画を立案、説明することができるようになる（DP-1、DP-2、DP-4）。 ③予習（120分） 自らの研究テーマを踏まえながら、フィールドワークまたはインタビュー調査を実施することを想定した調査計画書を作成してくる。 ④復習（120分） 授業時に担当教員や他の履修者と議論した点を踏まえ、調査計画書を修正し完成させる 【担当教員：山下 博之】
関連科目	研究倫理
教科書	各教員の指示にしたがってください。
参考書・参考URL	各教員の指示にしたがってください。
連絡先・オフィスアワー	各教員の指示にしたがってください。
研究比率	

